



令和6年4月25日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

**戦略的創造研究推進事業 情報通信科学・イノベーション基盤創出
（CRONOS）における
2024年度研究開発提案の募集について**

JST（理事長 橋本 和仁）は、情報通信科学・イノベーション基盤創出（CRONOS）における新規の研究開発提案募集を2024年4月25日（木）から開始します。

本プログラムでは、Society 5.0以降を見据えた未来社会における大きな社会変革を実現可能とする革新的な情報通信技術の創出と、革新的な構想力を有した研究人材育成に取り組み、日本の情報通信技術の強化を目指します。研究開発の推進に当たっては、情報通信科学の常識を変えるビジョンがあり社会問題への大きなインパクトをもたらす挑戦的な目標（グランドチャレンジ）を設定します。その貢献に向け、基礎研究と応用研究の垣根を越える運用スキームにより、社会変革につながる基礎研究とその成果の概念実証（POC：Proof of Concept）等を促進します。

本プログラムの運営は、プログラムディレクター（PD）が、プログラムアドバイザーからの助言等を踏まえ、統括します。また、提案された課題の選考や採択した課題の研究マネジメントや評価等は、領域ごとにプログラムオフィサー（PO）が領域アドバイザーらの協力を得ながら行います。

PD：篠原 弘道（日本電信電話株式会社 相談役）

PO：＜主に情報通信分野の領域＞

中尾 彰宏（東京大学 大学院工学系研究科 教授）

＜主に情報処理分野の領域＞

川原 圭博（東京大学 大学院工学系研究科 教授）

募集期間：2024年4月25日（木）～6月20日（木）正午

研究開発提案募集の詳細は、別紙および下記ホームページを参照してください。

URL：<https://www.jst.go.jp/kisoken/cronos/>

＜添付資料＞

別紙：戦略的創造研究推進事業 情報通信科学・イノベーション基盤創出（CRONOS）
における2024年度研究開発提案募集の概要

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 未来創造研究開発推進部

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

庄司 真理子（ショウジ マリコ）

E-mail : cronos[at]jst.go.jp

※お問い合わせは電子メールでお願いします。

<科学を支え、未来へつなぐ>

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JSTは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JSTは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JSTは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

戦略的創造研究推進事業 情報通信科学・イノベーション基盤創出 (CRONOS) における2024年度研究開発提案募集の概要

1. プログラムの概要

本プログラムでは、Society 5.0以降を見据えた未来社会における大きな社会変革を実現可能とする革新的な情報通信技術の創出と、革新的な構想力を有した研究人材育成に取り組み、日本の情報通信技術の強化を目指します。研究開発の推進に当たっては、情報通信科学の常識を変えるビジョンがあり社会問題への大きなインパクトをもたらす挑戦的な目標（グランドチャレンジ）を設定します。その貢献に向け、基礎研究と応用研究の垣根を越える運用スキームにより、社会変革につながる基礎研究とその成果の概念実証（POC: Proof of Concept）等を促進します。

本プログラムの運営は、プログラムディレクター（PD）が、プログラムアドバイザーからの助言等を踏まえ、統括します。また、提案された課題の選考や採択した課題の研究マネジメントや評価等は、領域ごとにプログラムオフィサー（PO）が領域アドバイザーらの協力を得ながら行います。

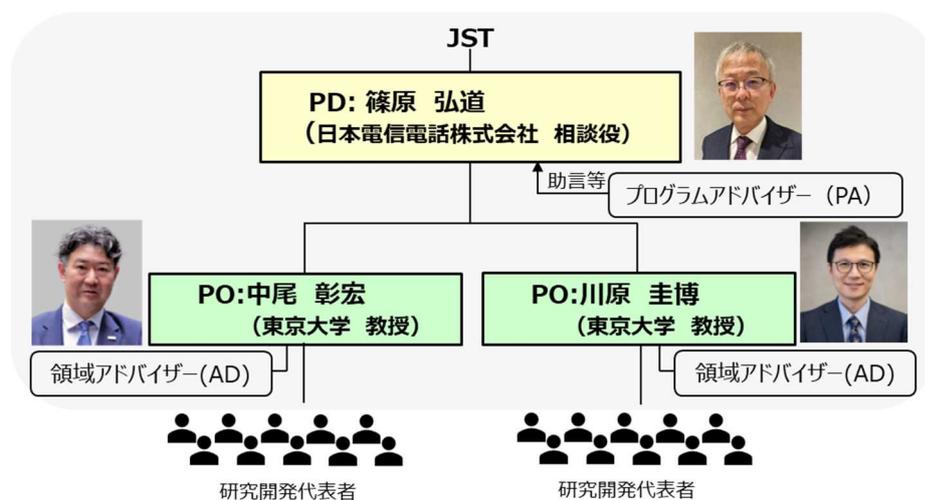


図1 運営体制

2. プログラムの特徴

(1) 領域

本プログラムでは、情報通信科学における広範な技術分野・階層を対象とします。技術ニーズが複雑化・多様化する中、従来の常識に基づく技術革新や、個々の技術分野・階層の革新だけでは解決できない課題が顕在化しています。本プログラムでは、グランドチャレンジの達成に向けた取り組みを通じて、人材交流を含めた、異なる技術分野・階層の連携・融合の促進を図ります。

本プログラムの対象範囲に対して、情報通信分野を中心とする領域と、情報処理分野を中心とする領域の2領域を定め、各領域のPOが領域を運営します。各領域は複数の技術分野・階層を包含するものとし、また、2領域は連携を図りながら研究開発を推進します。

中尾領域	PO：中尾 彰宏	川原領域	PO：川原 圭博
対象範囲 とする主 な技術カ テゴリ	<ul style="list-style-type: none"> ・通信サービス ・情報通信基盤（通信にか かるセンシング・収集・ 符号化・圧縮・認識・分 類、最適化、制御、学習） ・ネットワークセキュリ ティ（サイバー攻撃・セ キュリティ運用系） ・デバイス・通信方式（電 波・光・量子等の通信） 	対象範囲 とする主 な技術カ テゴリ	<ul style="list-style-type: none"> ・情報サービス ・情報処理基盤（情報処理 にかかるセンシング・収 集・符号化・圧縮・認識・ 分類、最適化、制御、学習） ・情報セキュリティ（暗号・ 認証・プライバシー系） ・デバイス・計算方式（電 子・光・量子等の回路）

（2）グランドチャレンジ

本プログラムでは、挑戦的な研究開発を促す上でグランドチャレンジを設定し、その実現に向けた新たな発想での研究開発を募集します。

グランドチャレンジのコンセプトは、以下4点を含むものとします。グランドチャレンジはさまざまな技術領域・階層を包含するもので、この達成に向けた取り組みを通じて、多様な研究アプローチにおける革新的な情報通信技術の創出と人材育成を図ります。

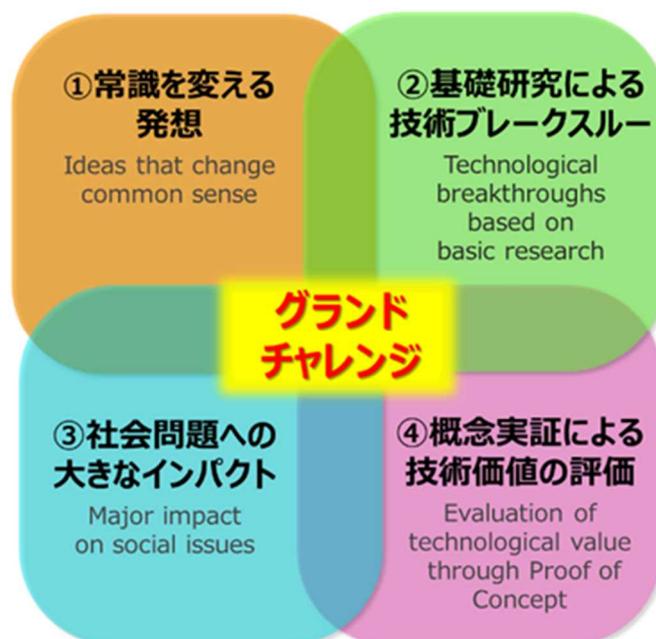


図2 グランドチャレンジコンセプト

2024年度に設定するグランドチャレンジ（GC）は以下の通りです。該当がない場合は、グランドチャレンジ自体を研究開発提案者が提案することも可能です。なお、グランドチャレンジの達成に向けたアプローチは複数が想定されることから、グランドチャレンジは領域共通のものとして設定します。

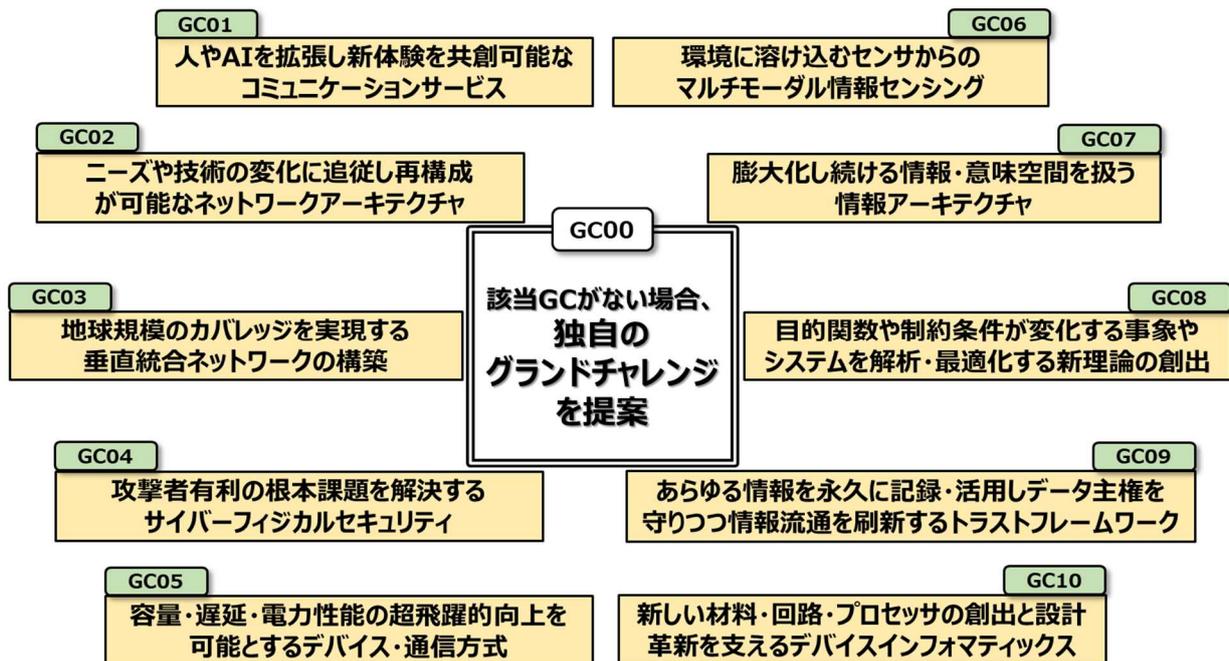


図3 2024年度設定のグランドチャレンジ（GC）

(3) 運用スキーム

本プログラムにおける研究開発課題は、基礎研究を中心とする「基盤研究」と、応用への橋渡しを目指す「移行研究」から構成されます。本プログラムでは、情報通信科学における研究開発の特徴を踏まえ、基礎研究と応用研究の垣根を越える運用スキームを取り入れ、社会変革につながる基盤研究とその成果の概念実証（POC）等に取り組みます。移行研究の実施過程で、基礎研究フェーズで検討すべき事項が出てきた場合は、基盤研究における研究開発計画を見直すなど、基礎研究と応用研究を行き来することでスパイラルアップを目指します。運用にあたっては、情報通信技術の研究開発を推進する情報通信研究機構（NICT）等との連携を図ります。

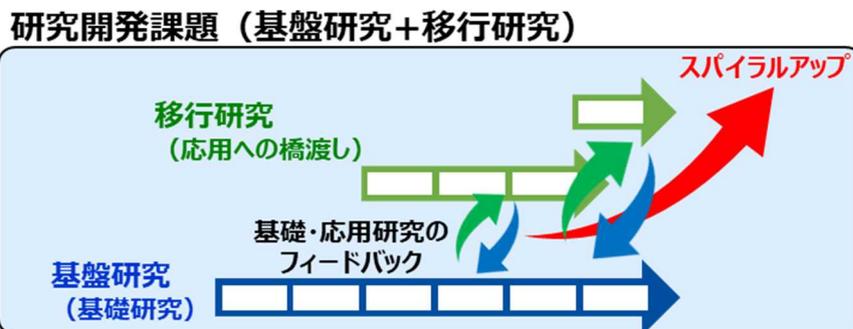


図4 研究開発課題の構成（イメージ）

a. 基盤研究

公募による採択（研究開発課題の事前評価）は、移行研究の想定を含めたグランドチャレンジ達成に向けた全体構想および基盤研究の具体的な内容・計画を中心に評価が行わ

れます。基盤研究では、グランドチャレンジ達成に向け、国際的にもトップレベルの技術ブレークスルーを起こす成果創出や研究人材の育成を推進します。

b. 移行研究

採択された研究開発代表者が、別途、POに対して概念実証(POC)のための具体的な計画を提案し、認められたものに対して、追加経費措置を行い、実施します。移行研究は、採択後、プログラム内募集による提案・審査により対象を決定します。移行研究の実施可否は競争的な審査を経て認められるものであり、プログラム内募集・審査時期はJSTが定めます。研究開始後、研究開発代表者は、各研究開発課題の進捗に応じて提案が可能です。基礎理論に基づくソフトウェア化、実データを用いた理論検証、テストベッドでの実証試験などを通じて、研究終了時において、総務省・NICT事業等への橋渡しや大学発ベンチャー創出の促進など企業等主体の研究につなげられるような成果創出を目指します。

3. 募集期間および募集内容

募集期間：2024年4月25日(木)～6月20日(木) 正午

研究開発提案募集の詳細は、CRONOSのホームページを参照してください

URL：<https://www.jst.go.jp/kisoken/cronos/>

4. 研究開発期間・研究開発費・採択予定数

研究開発期間：2024年10月以降から最長2030年3月まで

研究開発課題全体の研究開発費：総額約2億2,000万円～3億円程度

採択予定数：全体で18課題程度

※実際の研究開発期間・研究開発費は、研究開発課題の研究開発計画の精査・承認により決定します。

5. 研究開発提案の受付方法

研究開発提案の応募は「府省共通研究開発管理システム(e-Rad)」により受け付けます。

府省共通研究開発管理システム(e-Rad)ポータルサイト

URL：<https://www.e-rad.go.jp/>

6. 募集に関するお問い合わせ先

科学技術振興機構 未来創造研究開発推進部

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

庄司 真理子(ショウジ マリコ)

E-mail：[cronos\[at\]jst.go.jp](mailto:cronos[at]jst.go.jp)

※お問い合わせは電子メールでお願いします。